

平成15年度 第1回視察 実施報告 概要

視察の目的と実施内容

<視察の目的>

この視察の目的は以下の3点です。

- 1) 住民が原子力関連施設でどのような安全対策が講じられているのかを実際に見聞きして、理解する機会をつくる。
 - 2) 専門知識の有無に関わらず、住民の視点から懸念や課題を指摘する。
 - 3) 視察結果を公開し、原子力事業所の公開性を高めるとともに、より多くの住民の関心を喚起する。
- これらの目的を達成するため、視察の実施にあたって、次の条件を満たすように考えました。

実施の要点

- ・ 事業活動の現場を見学する
- ・ 事業所職員に質問する
- ・ 安全対策について議論する時間を十分とる
- ・ 結果をまとめ、公表する
- ・ 提案や要望事項については、事業所からの返答をもらう
- ・ 継続的に実施する

今回、核燃料サイクル開発機構東海事業所の方から、視察受け入れのお返事をいただき、2回の実行委員会を開催し、10月20日に再処理施設と廃棄物処理施設の視察を実施いたしました。

<視察の実施内容>

日時：平成15年10月20日（月） 8：50～18：20

参加者：12名

『提言する会』より・・・赤石 準、池田 誠仁、小宮山 豊、佐藤 隆雄、佐藤 稔
澤井 滉、清水 朋子、杉 暉夫、寺西 一夫（9名）

C3プロジェクトより・・・谷口 武俊、土屋 智子、飛田 道典（3名）

8：50 合同庁舎前に集合（サイクル機構のバスで東海事業所へ）

9：10 東海事業所 到着

9：15～10：00 野村副所長よりサイクル機構および東海事業所の概要説明を受ける

10：00～10：30 ホールボディを受ける

10：30～12：30 再処理施設を視察する

放射線管理室→燃料貯蔵プール→せん断工程→中央制御室

12：30～13：30 昼食をとりながら、視察場所の責任者7名と議論をする

移動

14：00～16：30 放射性廃棄物関連施設を視察する

廃棄物処理場→第一低放射性固体廃棄物貯蔵場→第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設

16：30～17：00 再処理施設の現場指揮所を見学

17：00～17：30 ホールボディを受ける

17：30～18：00 最後の質疑応答を行う

18：00 サイクル機構のバスで退出、合同庁舎へ向かう

18：30 合同庁舎着 解散

ただいま視察報告書を作成中！

視察に参加した9名の皆さんから感想文を提出していただき、それらを基に視察報告書を作成中です。この中には、サイクル機構のさらなる安全対策を求める提案が含まれています。

今後の視察プログラム関連の活動

視察報告書をサイクル機構に提出します。これを踏まえて、是非、サイクル機構の皆さんともう一度議論をし、住民からの提案事項についてお返事をいただきたいと思います。

サイクル機構との議論や提案に対する返答を加えて、視察報告書を完成させ、皆さんに公開していく予定にしています。

さらに、その他のサイクル機構の施設や他の原子力事業所への視察の実施もお願いしていく予定にしています。また、第1回の視察は「東海村の環境と原子力安全について提言する会」のメンバーによって行いましたが、今後の視察では、広く村民の皆さんにも参加を呼びかける予定にしています。



再処理施設の中を見学する視察メンバー

提言する会 新メンバー紹介 (2003年10月31日現在)

寺西 一夫 村松



私は1976年から東海村に住んでおり、この村の自然環境の素晴らしさが気に入っています。2000年3月までは、日立製作所の社内教育および短大での講義を担当しながら、日本原子力研究所で放射線計測の研究に従事しました。退職後は、パソコンとの格闘の毎日です。

原子力安全に関しては、1999年のJCO事故を契機として、発言する必要性を強く感じました。友人の杉さんと団地の同じ常会の山口さんの助言を受けて入会させて戴きました。